

ごあいさつ



人類は150万年前頃から火を使い始めたといわれています。自ら火を起こすようになり、暗い夜を照らし暖をとり、火を通した食べ物を口にするようになりました。それ以降、人類は火から様々な恩恵を受け、生活に無くてはならないものになりました。そして人類は木よりも長期保存が可能な炭を作り出し、生活の中に取り入れるようになりました。

日本人が炭を作り出したのは約30万年程前といわれており、現在でも多くの飲食店やBBQなどで使用され、身近な存在となっています。炭で焼いた方が食べ物が美味しくなる事や、炭を食べることで体内がきれいになる事など、昔の人は経験から炭の良さを知っていたそうです。

残念なことに、最近では炭ではなくガスや電気を使用する店舗や住宅が多くなり、少しずつそちらが主流になってきています。確かに火を起こすことは手間がかかりますし、自分で火を起こしたり、火を直接見る機会は少しずつ無くなっているかもしれません。

はじめは炭に火が付くまでに時間がかかりますが、少しずつ赤くなっていき火力が徐々に強くなっていきます。そしてある程度力強く燃焼した後、少しずつ火力が落ち穏やかな火に変わっていきます。

まるで人生のようだと思いませんか？

「炭」を通じて、皆様の大事な方々とのお時間がより良いものになるようにお手伝いしてまいりたいと考えております。

今後も「炭」をキーワードに、炭の良さを多くの方に知っていただく機会を作っていく所存です。

株式会社 福田 商店
代表取締役 福田 貴久